

厚木産リンゴ

厚木市温水にある湘北短期大学は8月中旬にオープンキャンパスを開き、厚木産リンゴを使った学生考案のマフィンに来場者に配布した。JAあつきは、地場農産物の魅力を伝え、地域に愛着を感じてほしいという思いに賛同し、材料の手配や同JAのマスコットキャラクター「ゆめみちゃん」のロゴ提供などに協力した。

マフィンには、同短大の生活プロデュース学科フードコースの学生が考案。「食の企画と演出」の授業の中で、来場者が喜ぶアイデアを出し合った。

配布する焼き菓子の考案に当たっては、6グループでプレゼンテーションを実施。「ステンドグラスクッキー」や「卵と牛乳を使わない足柄茶マ

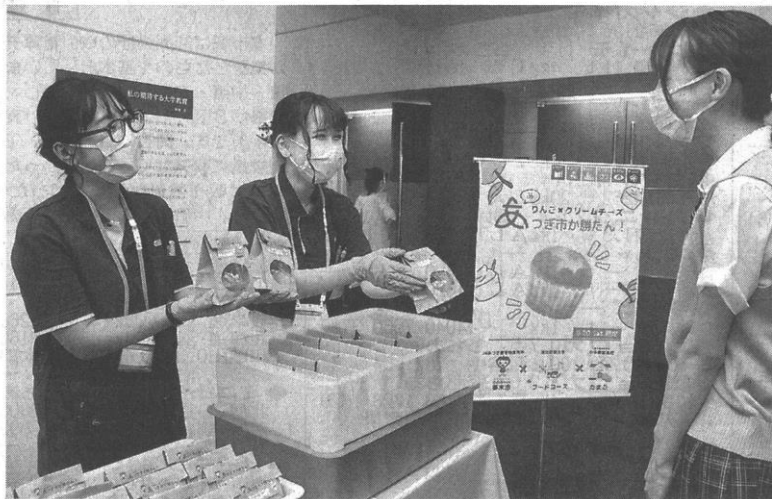
フィン」などの中から、厚木産リンゴを使ったマフィン「あつき市か勝たん！」が選ばれた。

マフィンには、厚木産リンゴ「つがる」を使い、さいの目に切った生地練り込んだ。リンゴの爽やかな甘味とクリームチーズのハーモニーが特徴だ。甘さは控えめに、リンゴの風味を最大限に生かした。

湘北短大 オープンキャンパス

JAあつき 材料手配など協力

パッケージには、同短大のオープンキャンパス「湘北ナビットくん」や



学生⑥考案のマフィンに来場者④に配布

マフィンでPR

同JAマスコットキャラクター「ゆめみちゃん」、市章などを使い、互いに連携した取り組みであることをPRするとともに、大学・地域・農業の魅力を伝えた。

当日は、学生がマフィンの特徴や思いを伝えながら配布。来場者は「地元と密着した取り組みや学びができるのは魅力的。厚木でリンゴが生産されていることも初めて知った」と話した。

マフィンを考案した学生の奥田あかりさん(20)は「周囲の声も聞き試行錯誤を重ね、自信を持って提供できるマフィンに仕上がった。今後も、地元の食材を活用した食提案を通じて、地域活性化や地産地消に貢献していきたい」と話した。

(厚木)